

第1学年通信(第4号)

平成30年10月18日発行

福岡県立久留米高等学校

校長：木本 和宏

第1学年主任：中尾 朋浩

『 知る楽しみ と わかる喜び 』

1年3組担任：陣内 貴文

A 「すべての人間は、生まれつき、知ることを欲する。」

B 「良識はこの世でもっとも公平に配分されているものである。」

「正しく判断し、真偽を弁別する能力—これがまさしく良識、もしくは理性と呼ばれているものだが—は、生まれながらに、すべての人に平等である」

Aはアリストテレスの『形而上学』、Bはデカルトの『方法序説』の冒頭です。明治時代に「哲学」という訳語が定着してしまったために、超難解で意味不明な術学という印象が強い哲学ですが、原語は単に「知を愛する」という意味に過ぎません。

今日のような情報過多の時代においては、知の捉え方もおのずと多様化しているように思います。常識的あるいは定期的に、知識つまり確定した(と思っている)学説や規則を、たとえわからなくても疑いを入れずに学び記憶することだと考えるでしょう。しかし、わからない限り学べない知もあり、この種の知では暗記はほとんど意味を持ちません。

「知る」とは知識を習得することであり、自分で何かを創り出すわけではありません。あくまでも楽しい止まり、いわば客観の楽しさです。

一方、「わかる」というのは自分自身の主体的な体験です。「わかる」ためにはその前に「わからない」状況と対峙しなければなりません。

「わからない」が「わかる」に変わる瞬間は至福の喜びだと思います。これなくし

て何のための学問でしょうか。大学受験の段階で言えば、これまでは、ほとんどの場合「知る」ことの教練でしたが、これからは「わかる」の知の鍛錬が必要となってきます。「わからない」から「わかる」へ自力で到達した人には「わかる喜び」の意味が納得でき、その喜びはきっとこれからの人生にも導きの灯になってくれることと思います。

『 読書のすすめ 』

1年3組副担任 : 村上 冴香

「3歳までに絵本1万冊」という言葉があります。多くの本に触れさせようと2歳半の息子と2週間に一度、市の図書館に通っています。一時期は本気で1万冊を目指すべく、毎日(延べ)15冊の絵本を正の字をつけながら読んでいました。正の字で数えることは1ヶ月ほどしか続けられませんでした。その1ヶ月で息子に大きな変化が現れました。まず、明らかに言葉が増えました。語彙が増え、嬉しいこと、嫌なこと、新たな発見を言葉にして教えてくれるようになりました。そして、情緒が安定しました。自分の気持ちが伝わるのでストレスも減ったのでしょうし、読み聞かせの時間が心を穏やかにさせる時間になったのでしょう。本を読むことを大切にしていきたいと思います。

みなさんは本を読む時間を大切にしていますか?毎日の朝読の時間をどのように過ごしていますか?本を読むことで語彙が増えます。また本を読むことは疑似体験をすることです。自分の知らない世界を知り、思考が深まり、心情が豊かになります。毎日10分の朝読の時間を心穏やかに過ごす大切な時間としてください。3年間毎日本を読むことは必ず皆さんの力になります。

I. 平成30年度 久高祭

1. 1年生……………合唱コンクール表彰

優勝・・・糸 (中島みゆき)……………1年1組

準優勝・・・365日の紙飛行機 (AKB48)……………1年4組

3位・・・手紙 (アンジェラ・アキ)……………1年6組

☆ 最優秀指揮者

1年1組 古谷玲未さん

☆ 最優秀伴奏者

1年3組 塩塚みのりさん



Ⅱ. P T A進路講演会

平成30年9月1日(土) 13:30
専門学校福岡カレッジ・オブ・ビジネス
進路ガイダンス部長 横山 正裕 氏を
お迎えし、『変化の時代 企業が求める
人材とは』という演題でご講演をいた
だきました。

子どもとの向き合い方、進路決定のあ
り方など多方面にわたるお話をいただき
有意義な時間を過ごすことができました



Ⅲ. 今後の主な日程

1. 10月27日(土) 久高ゼミ
2. 10月30日(火) 薬物乱用防止教室
3. 11月 1日(木) 全校朝礼
4. 11月 3日(土) 進研模試
5. 11月 5日(月) 歌舞伎鑑賞
6. 11月 6日(火) 防災避難訓練
7. 11月22日(木) 2学期期末考査(～28日)